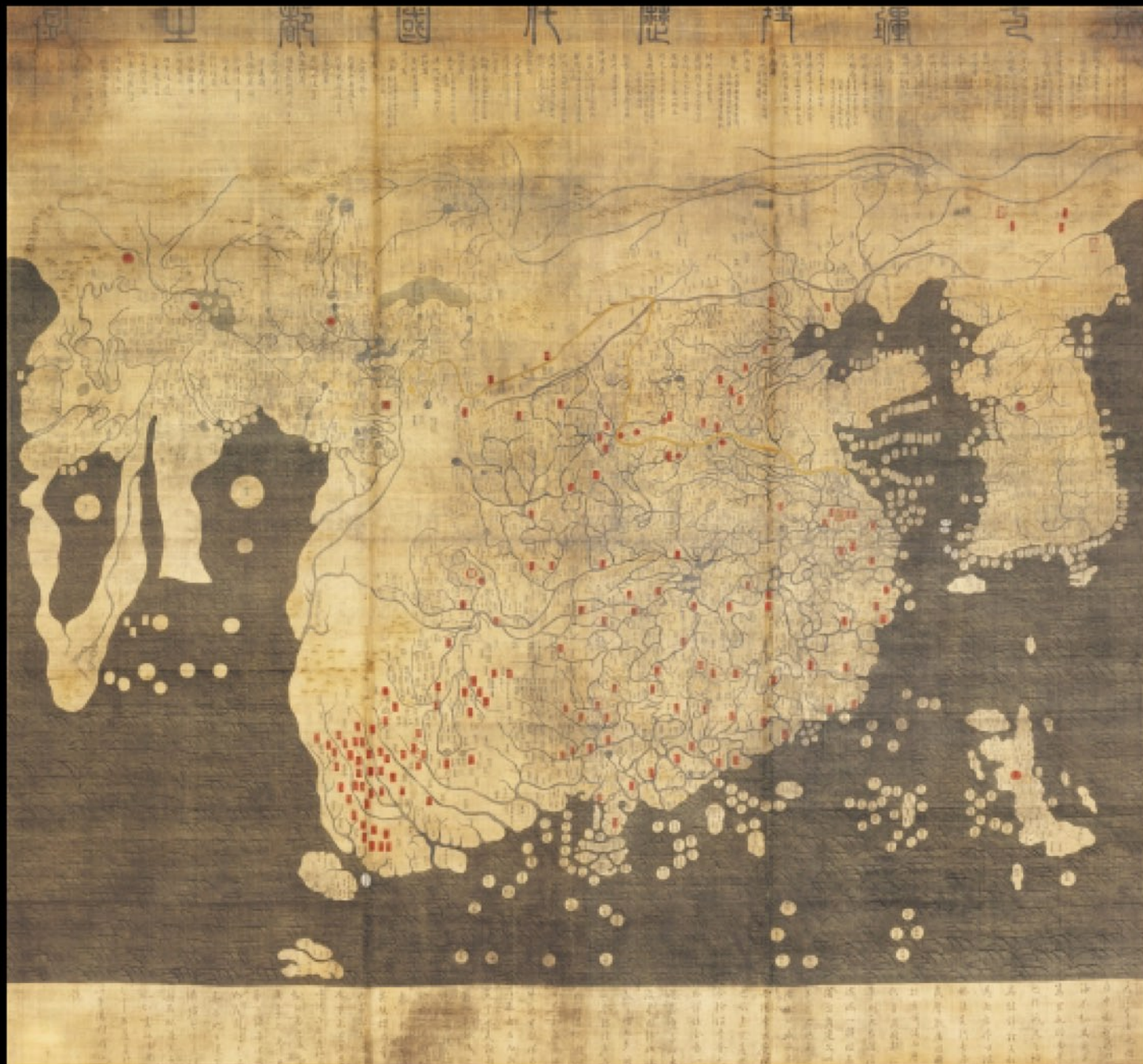


龍谷大学創立370周年記念事業——国際シンポジウム



多元視野で解明する至宝

混一疆理歴代国都之図



デジタル復元により甦る「混一疆理歴代国都之図」公開。

【国際シンポジウム】——2009年11月21日(土) 10:30~16:30

■会場/龍谷大学 大宮学舎 清和館3階大ホール

【展示】——2009年11月21日(土)・22日(日)

10:00~17:30 (展示会場への入場は17:00までとさせていただきます。)

事前申し込み不要

■会場/龍谷大学 大宮学舎 本館1階 展観室

〈主催〉 龍谷大学 人間・科学・宗教総合研究センター

〈お問い合わせ〉 龍谷大学 人間・科学・宗教総合研究センター事務局 (京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学内 TEL. 075-645-2154)



〒600-8268京都市下京区七条大宮東大工町125-1
交通アクセス ●JR「京都駅」より徒歩約10分
●市バス「七条大宮」より徒歩約3分

1402年に作製されたとされる、龍谷大学所蔵「混一疆理歴代国都之図」は、現存する世界最古の地図の一つである。この度、デジタル工学による素材分析・デジタル復元によって、史料学的分析・新たな地名文字解析が可能となった。その成果を基礎に、北東アジア、海洋アジア、モンゴル世界からの多元視野による歴史的文化的意義に関する分析・検討と研究成果を発表する。また、龍谷大学の至宝である「混一疆理歴代国都之図」を展示公開。関連する古地図をパネル展示し、当時の地理認識や古地図の美しさを紹介する。

【国際シンポジウム】

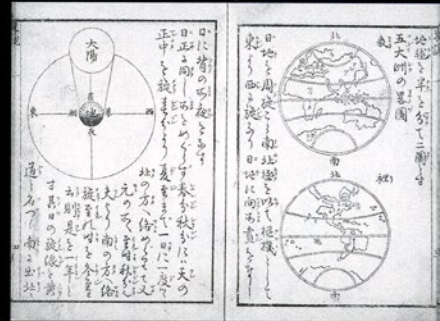
■ 基調講演 — 「混一疆理歴代国都之図」をめぐる国際比較

1. 朝鮮古地図からの視点

楊 普景 (韓国誠信女子大学校社会科学大学地理学科教授)
「朝鮮古地図研究のなかの『混一疆理歴代国都之図』」

2. 天理大学所蔵古地図と海洋アジア史

藤田明良 (天理大学 国際文化学部教授)
「『天理大学所蔵大明国図』と『混一疆理歴代国都之図』」



「地球全圖畧説」(龍谷大学大宮図書館所蔵)

■ 学術研究報告 — 「混一疆理歴代国都之図」への多元的アプローチ

1. デジタル工学からの視点

岡田至弘 (龍谷大学理工学部教授)
「『混一疆理歴代国都之図』のデジタル復元
— Digital Conservation for the Kangnido map.」

2. 北東アジアからの視点

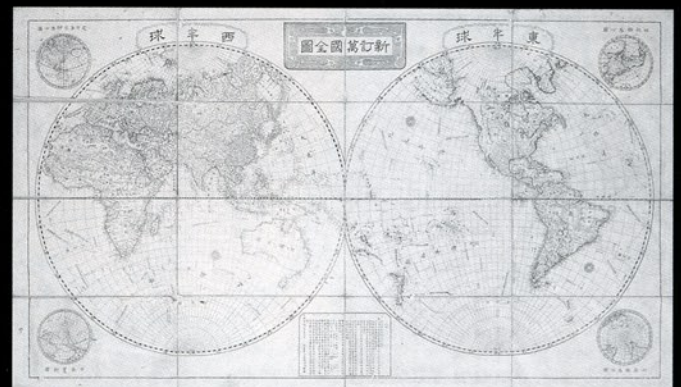
中村和之 (函館工業高等専門学校教授)
「『混一疆理歴代国都之図』から見た北東アジア
— アムール河の下流域を中心に」

3. モンゴル世界からの視点

村岡 倫 (龍谷大学文学部教授)
「『混一疆理歴代国都之図』と商業ネットワーク」

4. 東アジア地理認識をめぐる諸潮流

濱下武志 (龍谷大学国際文化学部教授)
「東アジア世界の歴史文化地図について」



「新訂萬國全圖」(龍谷大学大宮図書館所蔵)

■ 総合討論 — 「混一疆理歴代国都之図」をめぐる

【展 示】

<主な展示品>

- 「混一疆理歴代国都之図」(龍谷大学大宮図書館所蔵)
- 「混一疆理歴代国都之図」【デジタル復元版】
- 「大明国図」【写真版】(天理大学所蔵)
- 「新訂萬國全圖」(龍谷大学大宮図書館所蔵)
- 「地球全圖畧説」(龍谷大学大宮図書館所蔵)
- 李燦「韓国の古地図」(龍谷大学瀬田図書館所蔵)より数点【パネル展示】